



保護者交流会だより 第3号

2023年9月30日(土) 「水内俊雄先生と巡る杉本キャンパスツアー」に参加して・・・

大阪公立大6つのキャンパスの土地の明治以来の歴史や地理を水内俊雄先生のグイグイと引き込まれる講演で楽しく学び、より理解が深まったところで杉本キャンパスツアーが始まりました。一号館は戦前の建物ですが、クラシックで荘厳な雰囲気を感じた建物であり、この歴史的建築物を感じながら勉学に励める子ども達の環境は素晴らしい体験だと感じました。中央玄関から入った階段ホールは法曹界のドラマに出てきそうな美しさがあり必見です。植栽ひとつひとつにも研究などの意味があり、さすがは研究機関でもある公立大学！と何もかもに魅了される楽しいひとときでした。見学出来る機会を作って頂いたことに感謝申し上げます。(工学部保護者 植田真弓様)



2023年10月14日(土) 「海へ!空へ!中百舌鳥キャンパスツアー」に参加して・・・

第1部では工学研究科の片山徹教授の海洋システム工学についての講演の後、船舶動揺水槽で波を起こす様子を見学させて頂きました。この水槽は造波機と送風機を使って実際の海洋を再現し、電車で模型船を引っ張る事で走行中の船の様子を再現できるそうです。地球の7割を占める海の様子を3M×7.0M×水深1.5Mの水槽で再現できる事に驚きました。そして実際に船を作る前に企業と連携しながら船の性能や安全性を調査するのですが、こちらの研究室では「どのような実験を行えば船の性能や安全性を立証できるか」を研究しているそうです。次に、水平方向に循環する回流水槽と垂直循環型の小型回流水槽も見せて頂きました。回流水槽は小型の模型船を観察するのに優れていて、学部生は主にこの水槽を使用して実験・研究の基礎を学んでいくそうです。2027年に杉本キャンパスにある水槽等の実験施設も中百舌鳥キャンパスへ移転される予定で、数年後には中百舌鳥キャンパスの風景も現在とずいぶん様変わりしている事でしょう。公立大の黎明期をリアルタイムで体験できる事に胸が高鳴ります。そして、公立大としてまた新たに100年200年と歴史を繋いで欲しいです。



第2部ではWindMill Club(堺・風車の会)の部員さんから、NHK朝ドラ「舞い上がり!」のエキストラとして撮影に参加した際の裏話を聞かせて頂いたり、校内のロケ地巡りをしました。ドラマで登場した「スワン号」は、2003年の機体「白鳳」の翼と2021年の機体「飛鳥」の胴体・プロペラを組み合わせた機体だそうです。作業場には過年度の機体も解体して大切に保管されていて、機体への愛着を伺い知る事ができました。鳥人間コンテストに出場出来るのはほんの一握りの団体だけで、出場の選考基準として図面だけでなく、エピソードやコンセプトが求められるそうです。2024年度のパイロットは設計も兼任する大変珍しいパターンなので、注目される事を期待しています。1部・2部共に、理解する為には高度で専門的な知識が必要であろう研究内容も分かりやすく噛み砕いて説明して頂いたので、知識がなくても興味を引き立てられ楽しい時間を過ごす事が出来ました。普段見る事のない装置を見れた事、直接お会い出来ない様な方達から直接お話を伺えた事、我が子が通っている学校を様々な角度から見学出来た事はまたとない経験となりました。(工学部保護者 石崎晴香様)

2023年11月23日(土) 「大阪公立大学附属植物園散策 森の植物園へようこそ」に参加して・・・

今年のNHK朝ドラで牧野富太郎先生のお話を拝見していましたので、息子が通う大学に附属植物園があることを知り、見学できるのを楽しみにしていました。名波園長の講話では、雌雄異株植物と両性植物の有利不利、また植物の性転換とかの難しいお話を分かりやすく伺い、大変興味深く感動しました。植物は人類が地球上に誕生する何億年も前から地球上に自生し、人類の方が地球上に共存させてもらっていることに改めて気づかされました。一番印象に残ったのは、メタセコイアは恐竜の生きた白亜紀に生存した植物であり、化石の植物とされていたのに、1940年代に中国で巨木が発見され、アメリカのチェイニー博士が、その種子から苗を育て、当時の三木植物園園長が保存会を立ち上げ、アメリカから百本の苗木を贈られたことがメタセコイア再生の始まりだったということです。今、日本各地にあるのは、先人たちが挿し木で増やしたものと知り、関わってこられた方々のご苦労と自然を守り育てていく気持ちを引き継いでいく大切さを学ばせて頂きました。植物を通して、悠久の時間と環境と自身の生活との関わり合いを感じた、有意義な時間でした。子どもが成長し、公園や植物園から遠ざかっていきましたが、参加の皆さんとの交流もでき、次は家族や友人を誘って歩きたいと思います。沢山の植物からエネルギーをもらい明日からまた頑張れる、そんな気持ちになりました。(獣医学部保護者 大平明美様)



一 事務局からのお知らせ

2024年度定例評議員会が6月22日に開催され、教育後援会役員、評議員の選出、2023年度事業報告・決算並びに2024年度事業計画・予算、また繰越剰余金の活用方針について審議、決定されました。詳しくは、教育後援会ホームページに掲載しています。 <https://www.omu-esa.org/>

会長挨拶

大阪公立大学教育後援会 会長 辻 洋



以前、大学経営に従事していた時、なかなかうまく行かないことがあり、悩んでいたところ、海外の知人から、「We can be only successful with support of others. We gain that support through listening and caring deeply about people, the group, and the larger community and world. So expressing what you care about is always important. You are not alone」と言われた。この言葉でとても勇気づけられたことを強く覚えている。

個人だけでなく、組織も単独ではなく周辺の組織と一緒に活動することが大切だと思う。大阪公立大学にとっては、同窓会(校友会)、大学生協、出版会、労働組合、大学発ベンチャー企業、地元自治体、国際交流協定校などがより良い教育・研究・社会貢献を行うエコシステム(生態系)を形成する。教育後援会は在学生の保護者中心の集まりで、このシステムの一翼を形成したい。そのために保護者の皆様に「大学をより知っていただきたい、ご意見も賜りたい」と考えており、各学年の幅広い学部の保護者から交流委員を募集し、見学会や講演会のイベントを企画している。交流委員だけに頼らずみんなで一緒に大学の発展を後押ししていきましょう。お気づきのことがあれば、ご遠慮なくご連絡ください。

教育後援会のご案内

保護者交流委員会 委員長 岩井直美(保護者)

こんにちは。大阪公立大学教育後援会へようこそ。教育後援会は、学生の皆さんが充実した大学生活を送れるよう、語学・国際交流や研究活動、課外活動、就職活動、福利厚生、クラブサークル活動など、幅広い支援を行っています。また、保護者の皆さんへは、大学をよりよく知っていただくために懇談会や就職説明会などを実施しています。さらに、保護者交流企画として、今年度は、杉本、なかもず、りんくうのキャンパスツアーを予定しております。12月には実際に学生が学んでいる授業を体験できる講演「わがセンセの学(楽)問のススメ」も開催予定です。是非ともご参加いただき、楽しんでいただけたらと思います。



保護者交流企画事業①② 参加申し込み方法 (事業内容は次のページ)

- お申し込み方法: 右のQRコードの申し込みフォームよりお申し込みください。 QRコード
- 1企画につき保護者お2人まで参加できます。 ※応募締切日: 2024年8月2日(金)
- お申込み後、受付完了メールを自動送信します。お申込み前に「omu-esa.org」が受信できるように設定をお願いいたします。
- お申込時にご記入いただきました個人情報、申込後の事務連絡、教育後援会企画行事等のご案内に使用し、その他への利用および第三者への提供・開示することはありません。
- 各企画への希望者が定員を超える場合は、抽選により参加者を決定させていただきます。参加決定通知は8月中旬までに連絡いたします。参加決定通知後に、やむを得ず欠席される場合はお早めにお知らせください。

お問合せ

教育後援会 杉本キャンパス事務所 電話 06-6605-3420
Mail: kouryu@omu-esa.org ホームページ <https://www.omu-esa.org/>

①桑原先生に学ぶ地球学実習～中百舌鳥キャンパスツアー



中百舌鳥キャンパスで地学について一緒に学んでみませんか。地球学のミニ講義をはじめ、実際に授業で使用している偏光顕微鏡で岩石や鉱物を観たり、実体顕微鏡を使って化石をみるなど、貴重な実習体験も。地球が誕生して46億年のロマン溢れるひとときを中百舌鳥キャンパスで体験しませんか。

●国際基幹教育機構准教授 桑原希世子先生に、地球学について、わかりやすく解説していただきます。その後、顕微鏡等を使用した実習を体験していただきます。



【日時】2024年9月7日(土) 13:30～15:30 【スケジュール】
 【集合場所】大阪公立大学中百舌鳥キャンパスB3棟 13:00 受付
 堺市中区学園町1-1 13:30 講義 「地球学について」
 南海高野線「白鷺駅」徒歩15分 講師 桑原希世子准教授
 南海高野線「中百舌鳥駅」徒歩20分 (大阪公立大学国際基幹教育機構)
 大阪メトロ「なかもず駅」徒歩20分 14:10 実習体験
 【定員】48名(応募者多数の場合は抽選) 15:30 閉会・解散(予定)
 【参加費】無料



②建築史家倉方先生とめぐる杉本キャンパスツアー

毎回好評の杉本キャンパスツアー。杉本キャンパス1号館は、1934(昭和9)年、大阪商科大学の時代に完成しました。2002(平成14)年に登録有形文化財に登録された1号館は、中央に時計塔がそびえ、その下の玄関を入ると左右対称に上昇する階段が壮観です。現在サポートセンターとして使用されている旧図書館のインテリアや外観のデザインも一見の価値ありです。普段見られない謎の空間も見られるかも。講師には、多くの書籍やメディアでご活躍の建築史家、倉方俊輔先生をお迎えして、建築の観点から杉本キャンパス学舎の魅力を楽しみながら解説していただきます。杉本キャンパスツアーで知ったウンチクをお子様にご話してみませんか？



【日時】2024年10月5日(土) 13:30～15:50 【スケジュール】
 【集合場所】杉本キャンパス本館地区1号館内「講堂」 13:00 受付
 大阪市住吉区杉本3-3-138 13:30 開会・あいさつ
 JR阪和線「杉本町駅」徒歩5分 13:40 講義 杉本キャンパス“建築”の見どころ
 大阪メトロ御堂筋線「あびこ駅」徒歩15分 講師：倉方俊輔教授(大阪公立大学工学研究科)
 【定員】50名(応募者多数の場合は抽選) 14:20 キャンパスツアー
 【参加費】無料 15:50 閉会・解散(予定)
 ◎当日は、「大阪市立大学140周年記念展示室」を特別に開館します。

③りんくうキャンパスツアー 予告

関西で唯一の獣医学教育機関である、りんくうキャンパスについて、普段見ることのできない実験室や標本室等、学内施設見学を中心にツアーを開催します。

【日時】2024年11月16日(土) 14:00～16:30(予定) 【定員】50名(予定) 【参加費】無料
 【集合場所】大阪公立大学りんくうキャンパス
 (大阪府泉佐野市りんくう往来北1番地の58)



④シリーズ企画!「わがセンセの学(楽)問のススメ」 予告

大学で授業を担当される先生方が、学生に対してどんな授業を行ってこられたのか、学生が学んできた内容を知っていただくとともに、担当の先生の専門分野のお話を聞いて見て楽しんでいただくことをめざしたシリーズ企画です。

【日時】2024年12月14日(土) 13:30～16:40(予定)
 【集合場所】大阪公立大学中百舌鳥キャンパスUホール白鷺 【定員】500名 【参加費】無料
 【内容】講演『火山の噴火とその災害』三浦大助先生(大阪公立大学大学院理学研究科教授)
 講演『耳でとらえる平安京のサウンドスケープ』中川真先生(大阪公立大学都市科学・防災研究センター特任教授)
 学生クラブ・サークルのパフォーマンス



保護者交流委員会ってなに？



大学行ってまでPTA? そう感じた方が多いのではないのでしょうか? お子さんの通ってる場所がどんなところか知ることができる点はPTAと同じかもしれませんね。私たち保護者交流委員は、保護者の皆さんが、大学のことを知り、学び、楽しんで参加していただけるようにさまざまな企画を用意しています。大阪公立大学で私たちと一緒に楽しみましょう。

インタビュー企画…交流委員に聞きました

■2回生委員

①交流委員をしようと思ったきっかけを教えてください?

親元を離れて大学へ通うことになり、どのような大学(キャンパス)で大学生活を送っていくのだろうか? と親として不安な気持ちで懇談会に参加しました。その際に交流委員なるものがあることを知り、大学のことを少しでも知る機会になるのではないかと、息子の大学生活を保護者としても楽しめたらいいなと思ったのがきっかけです。

②小中高などPTA役員経験はありますか?教育後援会(交流委員)とPTAの違いはありましたか?

あります。PTAは、こどもたちのために!の活動が多かったような気がします。小中高大と成長するにつれ親が学校に出向くことも少なくなっていくと思います。年代の違う保護者の皆様と活動しながら、大学や子どもの事、その他の情報交流もでき、とても楽しく活動させていただいています。2年目も楽しみながら笑顔でみなさんと一緒に活動していけたらと思います。

■3回生委員

①交流委員になって楽しかったこと、しんどいなと思ったこと教えてください?

キャンパス・学部を超え、様々な保護者の方とのご縁が生まれ、一緒に行事に取り組む様子は、学生に戻ったようで、とても楽しく充実した日々を過ごさせていただいています。しんどいと思うことはありませんが、保護者の方の前でご挨拶など、緊張感のある体験をさせていただくことはあります。

②交流委員をやってることでお子さんになにか言われたことはありますか?

「なんで役員なんかするん?」と素朴に聞かれた事があります。ただ、私が楽しそうに話しているのを見て、温かい目で見守ってくれています。また、娘は中百舌鳥キャンパスに通っているのですが、杉本キャンパスにも足を運んでいる私を見て、少し羨ましそうです。

■4回生委員

①入学したときがちょうどコロナ禍で交流委員の人数が3名とこの学年は少ないのですが、そのことで寂しい思いやプレッシャーなどありましたか?

3人ではありますが、仲良くしてもらっているので寂しいと思ったことはありません。ただ、1回生の時は対面での活動がほとんどなく、同級生が3人だとわかったのが3月でした。ほぼ1年間、一緒に活動できなかったのは残念に思っています。現在、上回生の人数が少ない状態なので、若干プレッシャーは感じています。

②企画のリーダーをされていますが、これから応募される保護者の皆さんにアピールポイントをお願いします。

杉本キャンパスの1号館が登録有形文化財だということをご存じでしたか? 1号館をはじめとする建築物の歴史と価値を倉方先生が熱く語ってくださいます。面白いこと、間違いなしです。

■院生委員

①長い間、交流委員をされていますが今まで面白かった企画、意外な変わった企画など、教えてください。

2019年度の入学でしたので、コロナ禍以前の活動に参加することができました。その当時の内容になりますが、「ボート祭」や「天神祭の花火鑑賞」、そして「新入生保護者懇談会」では、第1部・2部終了後に学食で学部ごとにテーブルが設けられ、学長をはじめ各学部長、教員の方も同席した茶話会のような場がありました。学食の食事や先生、保護者の方との会話の機会があったことや、今の保護者交流企画にあっては大抵食事が用意されていたので、その時間を参加保護者同士の交流に充て、場所も学内に限らず学外での企画が多くあったことかと思えます。

②今後、交流委員に、どうなって欲しい、期待などありますか?ご自身の経験談を含めたメッセージをお願いします。

当時の交流委員の先輩から「出来る時に出来ることで参加したらいいのよ」と言われ、交流委員6年目になります。皆さんも卒業するまでの間には、ご家庭の環境が変わられる方も少なくありません。今まで同様、持ちつ持たれつで活動を続けていただければと思います。